

2月臨時議会・3月定例会の報告

2月臨時議会は2月27日、3月定例会は3月7日から25日までの会期で開催されました。

- ・2/27 補正予算審議…………… 16p
- ・2/27 全員協議会…………… 17p～18p
- ・3/7 議案、請願・陳情など…………… 19p
- ・3/20 一般質問…………… 20p～23p
- ・3/20 当初予算審議…………… 23p～24p
- ・3/25 補正予算審議…………… 24p～25p
- ・3/25 全員協議会…………… 25p～26p
- ・町民アンケート結果報告…………… 28p～31p

2月臨時議会

補正予算審議 (抜粋)

Q 山崎議員

南木曾小学校校体育館の天井の撤去費は高額であるが、どのように実施するのか。

A 教育長

吊り天井の撤去と、左右前後の壁、照明器具等を補修します。

Q 松原議員

大雪の除雪費は。

A 建設環境課長

倒木除去費用も含み、約1300万円です。

Q 松原議員

大雪の除雪は、通常の除雪体制では対応が難しい。災害対策本部等を設置し対応できないか。

A 総務課長

今回、災害対策本部や警戒本部は設置しませんでした。今後は、大雪にも対応していきたいと思います。

Q 坂本議員

大雪による通行止めの情報は知ることができたが、停電の情報がなかった。防災計画の中に電力会社等との連携も入れ、見直す必要はないか。

A 総務課長

防災計画は風水害の対策を中心に計画を立ててあります。今後、雪害についても見直しを行いたいと思います。

Q 伊藤議員

上在郷地区で水道の調査が予算化されたが。

A 建設環境課長

26年度に調査し、良い方法を考えたいと思います。

Q 伊藤議員

小学校体育館の天井落下防止事業以外に、国の大型補正予算に伴う補助金はあるか。

A 総務課長

障害者自立支援給付システム改修事業、小学校の遊具設置事業等です。

Q 北原議員

妻籠宿有料駐車場の土地購入の場所、規模と今後の計画は。

A 産業観光課長

第2駐車場の左奥で、面積は1230㎡です。今後、他の地主から申し出があれば、購入したいと思います。

Q 早川議員

地主の提示金額で購入する前に、町は土地、建物の価値を評価して提示金額と比較するべきだと思うが。

A 産業観光課長

町は、固定資産税評価額を基に計算し、比較しています。

一般会計補正予算 **4079万8千円を追加**
 総額 **36億2832万2千円に**

●会計別補正予算 (単位：千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計(第5号)	40,798	3,628,322
国民健康保険特別会計(第4号)	1,231	508,488
簡易水道事業特別会計(第4号)	384	186,267
町営妻籠宿有料駐車場特別会計(第2号)	6,180	43,391
下水道事業特別会計(第3号)	△77	67,729
農業集落排水事業特別会計(第4号)	178	68,710
浄化槽市町村整備推進事業特別会計(第3号)	△129	98,090

●一般会計補正の主なもの (単位：千円)

事 業 名	金 額
子育て基金積立金	30,000
簡易給水施設整備事業(三軒家地区水道漏水対策経費)	500
南木曾小学校校体育館天井等落下防止対策事業	44,700
妻籠宿有料駐車場用地購入に伴う繰出金	6,104

2月27日 全員協議会 (抜粋)

国保税率改定

概要 25年度の保険給付は前年度に比べ増加する傾向で、被保険者数は減少し一人当たりの医療費も増加しています。このため取り崩す基金を2400万円追加し5400万円とする見込みです。基金残高見込みは26年度末で約3000万円に減少し、国保の健全運営が厳しい状況です。このため課税総額で約3%増収となるよう医療費分の税率改定を行う改定です。

山崎議員

Q 基金で対応している今回のやり方で良いと思うが、今後の見込みは。

A 脳疾患やガンなどで医療費が12月に急が増えていますが、今後は通常程度になり、来年度については月ごとの医療費数字が下がれば、安定度は増すと思います。

Q 今回は所得割を6.4%に改定するが、本来は、均等割、平等割に比重をおき収入が安定するようにした方がいいのでは。

A 今後の改定時の参考にしたいと思います。

伊藤議員

Q 今回約3%の保険税の値上げによる分は約260万円である。4月からは消費税増税などもあり住民は大変だ。基金対応や、一般会計からの繰り入れも考えられるが。

A 一般会計からは特殊な条件がないとできません。本当に足りない分ということになれば30%の値上げをする必要があります。最低限の値上げをお願いします。

早川議員

Q 地区の常会で検診のお知らせをする等、検診を受け、早期発見で医療費が下がる対策を考える必要がある。

A 検診のお知らせは、広報等でお知らせしています。国保運営協議会でも話題にしています。

ふるさと納税制度

概要 ふるさと納税者には、町長からのお礼状を送付していますが、26年度から、制度を逸脱しない範囲で、お礼として、金額に応じて町の特産品を送ることへ変更するものです。

寄付金は、寄付のあった翌年度に全額を希望する事業に充当します。

山崎議員

Q 特典は、最大25%〜10%であるが、納税額に応じたお礼をすべきではないか。

A 1万円未満は礼状のみ、1〜5万円は2500円までの範囲、5万円以上は5000円までの範囲でお礼をします。地元のことを宣伝し、町の様々な産業の発展に寄与すれば良いと思います。

北原議員

Q お礼の品に南木曾商品券を加えたらどうか。

A 商品券も加えます。

坂本議員

Q 特産品はどのように選んだのか。

A 南木曾町の特産品の中から金額ごとに当てはまる品を選びました。

高橋議長

意見 温泉施設、博物館、桃介記念館などの入場券をプレゼントすることや、ツツジ祭りのチラシや、封筒などにふるさと納税のことを印刷するなど提案する。

地域バス乗り継ぎ 優遇制度

概要 高齢者や学生などの移動手段として地域バスや乗り合いタクシーは生活の足として、また通院バス路線として重要な路線となっています。今回は、通院バス路線として重要な路線である田立線に限り、乗り継ぎ制度を取り入れるものです。

4月1日から、各路線バスから田立線の通院バスや大桑村の「くわちゃんバス」に乗り継ぎ坂下病院へ行く場合、南木曾駅から坂下間が、往復無料となる制度です。



地域バス

山崎議員

Q 町の負担増の見込みは。
A 利用者数からは、概ね百万円の増加です。

坂本議員

Q 帰りのみの乗り継ぎはどうなるか。
A 帰りの坂下病院線では、券の交付ができないため片道は考えていません。

(仮称)「妻籠宿町並み交流センター」
 建設委員会の設置

注：「妻籠宿町並み交流センター」の名称は、「公民館妻籠分館（町並み交流センター）」に変更する予定もありますが、皆さんの意見を聞き再検討します。

概要 公民館妻籠分館の建て替えについては26年度に調査研究、27年度設計、28年度建設予定です。町並み交流セン

ターの名称は、地元からの要望、重要伝統的建造物群保存地区内であり、文化庁からの補助金の可能性もあることからつけたものです。

調査研究をするに当たり、地元関係者を中心に「妻籠宿町並み交流センター建設委員会」を立ち上げるため、その要綱を示すものです。

伊藤議員

Q 委員会への議会代表の関わりについては、どのような考えか。
A 議会は委員会の答申を審議した方がいいとの意見があり、小学校建設委員会の際は議員は入りませんでした。

北原議員

Q 交流センター建設の目的は何か。
A 地域から妻籠分館の老朽化による建て替えの要望が出ています。重伝建ということで町並み交流センターも含めた施設の要望があり、実施計画で位置づけてきたものを26年度から立ち上げていきます。端的には分館を交流センターにするということです。

Q 今の時期に、町並み交流センターが必要なのか疑問を感じる。
A 実施計画に入っています。妻籠の場合は年間50万人が訪れ、冬期大学等の学術的なことも行っています。今回、対外的なこと考え、妻籠分館の老朽化が激しいため、町では妻籠分館を交流センターとして取組みたいと考えます。今後、他の分館もそれぞれ老朽化したところは直していきます。

Q 事業費の総額は。
A 今の分館の取り壊しや周辺の整備も含めて全体で約2億6千万円の見込みです。

山崎議員

Q 地域住民の拠点であり公民館発祥の地であること、対外的な交流の場であることなどを明確にしておいた方がいい。委員には、利用する人の視点での意見が言える人を加えたらどうか。
A 参考にしたと思います。

伊藤議員

Q 町の文化、産業の発展、健康や医療や防災など、全町民が使っていける施設という位置づけが大事ではないか。
A 全部取り入れて大きな施設にすることは難しいと思います。

坂本議員

Q 委員の中の利用者代表とは誰か。また委員の選出方法は。
A 現在、各種教室等で分館を利用しての方の代表です。委員はこちらからの指名ではなく団体で選出してもらいます。

勝野議員

Q 交流センターに補助金はあるか。
A 確実とはいえませんが、文化庁と相談をしている段階です。

山崎議員

意見 議員関与なしでよい。途中経過など情報を知らせて欲しい。

南木曾
 バイオマス発電
 事業計画の報告

概要 2月20日、関係企業による第2回地元説明会が、公民館で開催されました。企業側の説明では、10月頃着工、28年7月に運転開始する予定です。

住民から、環境などへの不安、事業への期待などの意見が出ています。自主アセスの結果が出る5月頃、事業者による第3回地元説明会をお願いしています。

高橋議長より議員に確認

この委員会に議員は関与しないという方向でよいか。

3月定例会

議案

まれるため、医療費分の税率改正を行い、課税総額で約3%増とするものです。

●消防団条例の改正

26年度機能消防団員数が41人から49人に変更となりました。それに伴い消防団員退職報償金掛金の算定が変更となるものです。

●非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例改正

政令が改正されたことに伴い退職報償金の支給額を引き上げるものです。

●保育所設置条例の改正

田立保育園の耐震改修工事に伴い、工事期間中における同園の位置を旧田立小学校に変更するものです。

●国民健康保険条例の改正

(賛成6 反対2)
26年度の国保財政は医療費給付が拡大し収入不足が見込

ふるさと基金の一部を取崩し、公共サイン管理事業、上下流交流事業に充てるため、町が64万2千円権利放棄するものです。

同意案件

●固定資産評価審査委員会の委員の選任に同意

樋口 信雄(再任)
(読書3271番地4)

議員発議

●だれもが安心して利用できる介護保険制度を求める意見書の提出

現在国で審議中の27年度改正予定の介護保険制度について、介護を必要とされる者が制度から切り離されるなどサービスの低下にならないよう、見直し内容の変更や国庫負担の増大等を要望する意見書が議員から発議されましたが、総務文教委員会に付託され継続審議となりました。閉会中にも審議が行われます。

請願・陳情

●「特定秘密保護法」の廃止を求める請願

内容

「特定秘密保護法」は、行政機関の長の判断で重要な情報が秘密指定され、隠蔽の恐れやTPP交渉など、重要な情報を知ることができなくなる恐れがあること、臨時国会では十分な審議がされないまま強行採択されたことなどから、憲法の精神に反し民主主義の根幹を破壊する内容を持つこの法律の廃止を求めるものです。

提出者

南木曾九条の会
代表 越 隆太郎

結果

不採択(不採択に賛成多数)

●「過労死防止基本法の制定を求める意見書」採択を求める陳情

内容

過労死について、国が法律を定め、総合的な対策を積極的に行うよう要望するものです。

提出者

いのちと健康をまもる長野センター
理事長 古畑 俊彦

結果

趣旨採択

●TPP決議の実現を求める意見書の採択を求める陳情書

内容

TPP交渉において、衆参農林水産委員会決議や自民党決議の実現、国民への情報開示の徹底を求めるものです。

提出者

木曾農業協同組合
代表理事組合長 高橋 徳

結果

採択・意見書送付

3月定例会

町政を問う 5人の議員が質問



伊藤 伸三

と考えています。また、町の第3次自立推進計画の策定に入るの、住民懇談会などで住民の意見を聞き進めていきたいと思えます。

第9次総合計画の検証は住民とともに

質

第9次総合計画が策定され1年が経過した。計画の推進状況や成果を住民とともに、定期的に点検・検討する場が必要ではないか。実施計画では、年々見直すことになっているが、住民は自分達の作成した計画がどのように進んでいるのか分からない。計画に対するさらなる意見や提案を出してもらう場をつくるのが、計画推進と町政の活性化に繋がると思うがどうか。

答

住民の代表である議会が実施計画や決算の報告書を点検してもらっている

意見

議会は住民の代表に違いないが、議会のみでの点検でよいのか。住民の意見を吸収する場が必要でないか。また、総合計画は10年間の計画であるから当然見直しが必要となる。住民とともに計画推進の状況を点検する場を作らないことは大変残念である。

子育て支援は総合的な施設の建設で

質

現在「放課後子ども教室」は、狭い南木曾会館で実施している。このような形で続けるのどうか。放課後子ども教室、子育て支援センター、町の図書館も含めた新たな施設をつくることを提案したいが、「放課後こ

も教室」の利用状況は。

答

現在67人登録しています。利用料は保険料込みで通年1人5千円で、長期休みは、別途1日2百円の負担で実施しています。26年度は85人を予定しています。施設については、学校周辺に空き家などがあればと検討しています。



セカンドブック贈呈

質

子ども達へのブックサービスも始め、学校でも読書に力を入れている町であり、図書館も必要である。また、子育て支援センターは以前の課題だ。これらの機能を合わせた施設建設を検討すべきでないか。

答

図書館と子ども教室を併設するには課題があると思いますが、「子育て支援会議」も設置されるので検討していきます。

意見

町の総合計画の立場で具体的事業として考えると、26年に田立保育園の改修、その後蘭保育園の改修が予定されている。その後は「放課後子ども教室」「子育て支援センター」などの建設を予定すべきでないか。コミュニティセンターとしての南木曾会館の利用は飽和状態といえる。



坂本 満

消費税増税などの住民への影響は

質

地方公務員給与の削減、年金の値下げ、国民保険や公共料金の値上げ、生活保護制度の見直し、消費税増税などによる影響がどのように現れると判断されているか。

答

消費税による影響は、住民の暮らしに直結している問題で大変なところだと思います。これによって生活弱者の方々がますます困窮することにならないように、町は制度に沿って対応していきます。

質

就学援助費の当初予算は消費税増税を考慮しているのか。

答

基準が変わった場合には、国の基準の範囲内で行うということになります。もし変更になった場合には補正予算で対応します。

質

隣の岐阜県は就学前の子どもに対して医療費が窓口無料化になっている。子どもや障害者の医療費窓口無料化について県への働きかけはできないか。

答

福祉医療について年に1回程度県との協議会を持って協議しているので、そういう話があれば確認します。

今後の農業政策の見直しは

質 国の農業への新たな施策が相次いで出されているが、町のような中山間地域における農業制度の実施状況は。

答 中山間地域等直接支払制度は、現在第3期の4年目で、27年度には第4期が始まる予定です。経営所得安定対策の米の直接支払は、26年度からは半額の1反歩7千5百円になり、30年度に廃止となります。町では就農者や担い手を増やすこと、農地の集積を図るための「人・農地プラン」を現在作成しています。さらに農地中間管理機構制度がこれから始まりますが、この方法が町のように農地が点在しているところでは、担い手に農地が集約できるか難しい面があると思われます。

質 この先、地域における食物自給率の向上や、森林も含めた山間農地資源の多面的活用を通じて人口増加につなげるといった展望のなかで制度を活用しようとしているのか。

答 難しい問題です。農業だけでなく、定住化施策や「地域おこし協力隊」によって新たな産業を興し、人口減少を食い止めていく努力をし、その結果として農業、農地が守られていくと良いと考えられます。

質 後継者に農業がおもしろいというような取り組みが町でもできないか。

答 多面的、多面的にとらえていかないと難しいと思います。国の制度を取り入れる場合も、どこかに一つの光が見えないかという視点で町は取り組んでいます。

質 山中の行方不明者の捜索で各種団体と協定を

質 施政方針の安心安全の町づくりの中で、「各関係機関との連携を密にして防災対策の強化に努める」とあるが、消防団の行方不明者捜索は、その時々で対応が違う。地域に根ざした消防団には大きな期待をしているが、山に入った人を探すことは特殊で危険を伴う。そこで、そのような捜索の時のために、山のプロである森林組合や猟友会と有事の際の協定を結び、スムーズな捜索活動が消防団と一緒にできるようにしていくべきと考えるが。

教育委員会制度改正案の考えは

質 今回示された政府与党案は、首長への権限を強化するという点や教育の継続性や安定性が損なわれる点など問題がある。改革案についての考えを伺いたい。

答 首長からの独立、合議制、住民による意思の決定、このことは意義のある

ことだと思っています。制度がだめということではなく、活用の方法によると思います。制度の見直しには反対です。



松原 崇文

山中の行方不明者の捜索で各種団体と協定を

質 各種団体にも事前の用意が必要だと思う。有事の際の連絡の仕方など事前をやっておくと、スムーズに捜索活動に入っていけると思うが。

答 各種団体へ、捜索活動など要請することがあることを町から伝えたいと思います。

意見 出勤時の待遇、怪我等の補償を整備し、よりよい活動ができるようお願いする。

答 「教育」については、町独自で30人学級の実施や本を贈る事業の他、南木曾小学校には特別支援員・助教員を3名、南木曾中学校には講師2名を配置し、小中学校ともに小人数学級での学力向上等に取り組んでいます。学校給食関係では、木曾南部産の米を使い、26年度から町の米代補助を3分の2に引き上げます。放課後子ども教室は土曜日毎月1回実施します。「定住化」については、田立保育園耐震改修事業、18歳までの医療費無料化、住宅リフォーム補助金の延長、小規模な宅地造成、地域おこし協力隊事業があります。



早川 親利

教育と定住化の具体策は

質 第9次総合計画の重点課題に「教育」と「定住化」を掲げてあるが26年度の予算に反映しているか。

答 「教育」については、町独自で30人学級の実施や本を贈る事業の他、南木曾小学校には特別支援員・助教員を3名、南木曾中学校には講師2名を配置し、小中学校ともに小人数学級での学力向上等に取り組んでいます。学校給食関係では、木曾南部産の米を使い、26年度から町の米代補助を3分の2に引き上げます。放課後子ども教室は土曜日毎月1回実施します。「定住化」については、田立保育園耐震改修事業、18歳までの医療費無料化、住宅リフォーム補助金の延長、小規模な宅地造成、地域おこし協力隊事業があります。

質 教育の充実について、特に郷土を愛する心の醸成、道徳教育を掲げているが、その内容は。

答 郷土を愛する教育については、総合学習で積極的に取り組んでいます。地域の学習をするためにスクールバスの特発などを行っています。道徳教育は、学校と協議して進めていきます。

質 地域へ出かけての学習はどのような内容か。

答 「よいところ探し」「大黒踊り」の練習、田立和紙の体験、各地域の名所の見学、町内の企業見学など学年ごとに実施しています。

質 「定住化」については、働く場所の確保が一番重要である。以前、企業誘致を計画的に進めるとの事だったがその後の経過は。

答 色々な方面に問い合わせています。なかなか来てくれる企業が無い現状です。今後、情報を集めたと思います。

質 定住化には、宅地造成も必要である。町長との懇談会でも宅地造成の要望が出ていたが、宅地造成を行う考えはないか。

答 今後、検討したいと思っています。

「地域おこし協力隊」の活動内容は

質 26年度からの新規事業として地域おこし協力隊があるが、人数、仕事の内容は。

答 女性3名採用しました。活動内容は、①地域産業及び地場産業の発掘と振興等②観光資源及び特産品の情報発信と地域食材の商品開発等③遊休農地の有効活用と農産物など新たな特産品開発、着地型観光開発の促進と地域間交流等に従事してもらう予定です。

「あかたつ」存続に町も力を

質 「あかたつ」は、昭和60年に上の原むらおこし組合が栽培し漬物として販売し、平成20年に長野県伝統野菜として認定され、最盛期には、2.5トン栽培し、3千袋が販売された。町でも補助金等を支援したが、現在、会員の高齢化などに伴い、栽培・加工する人が減少し、消滅する心配がある。この状況をどのように考えるか。



あかたつ

答 「あかたつ」は、商標登録もし、町の大切な商品として考えています。現状は認識しており、検討中です。

意見

長野県の伝統野菜として認定され、今日まで一生懸命守り続けてきた。施政方針にも農業の6次産業化にも力を入れるとある。町が中心となり継続できるように検討して欲しい。また、「いたどり」「味噌」等、町の特産品を開発している関係者との連携も検討して欲しい。



山崎 隆二

元気が出るまちづくりの具体策は

質 26年度採用予定の「地域おこし協力隊員」の構成、位置づけ、活用方法期待される効果は。

答 20〜30歳代の女性3名を臨時職員として採用し、地域活動に参加しつつ提言をしてもらう考えです。

質 中山間地域等直接支払制度は27年3月で第3次が終了するが、残金が出そ

うな場合、繰越しできるか。

答 目的をもった繰越しは可能です。この場合、残金が無くなるまで会計報告が必要になります。

質 集落は高齢化で疲弊しており、26年度開始の「多面的機能支払制度」に参加しない集落も出ると思われるが、農村の景観、洪水防止機能等をどのように維持していくか。

答 直接支払い制度は、農地の維持についても活動内容となっています。多面的制度も活用しながら景観保全等に取り組んでいただきたいと思います。

質 「青年就農給付金」の出所、支援額、支援対象者は。

答 国からの補助金で年150万円が5年間給付されます。「人・農地プラン」に位置づけられた田立地区の若者1名が対象となります。

質 軽トラ市場や学校給食食材の提供実績と効果は。

答 軽トラ市場は年12回開催し、71万円の売上げ。学校給食には多くの種類の食材を提供しています。購買者、子ども達には好評です。



軽トラ市場の様子

補助しています。

質 地場産業の育成で「なぎそねこ」だけでなく木材工芸品等の振興をどう進めるか。

答 組織拡大と地域おこし協力隊の活動に期待しています。

質 空き家化する駅前商店や、駅舎の活用はどうか。

答 駅前の活性化委員会で検討中です。駅舎には小規模観光案内所を設置する計画です。

質 南木曾岳山頂トイレの仕様は、し尿処理、維持管理をどうするのか。

答 バイオ方式トイレで5、10年間に一度し尿処理が必要になります。管理は委託する予定です。

質 地域が企画する「着地型観光型のツアー」を具体的にどう行つか。

答 パソコンから行きたい観光地のツアーを買う形で、

旅行会社と提携して観光ツアーのメニューを売り出します。

リンニア新幹線問題への対応は

質 町は県に意見書を提出し、議会でもJR東海や関係部に要望書を提出した。県知事の意見書はこれらを汲んだものとなっているが、その後の対応をどう考えるか。

答 工法、土砂運搬路、土捨て場など懸念材料は多くあります。南信広域連合との連携も考えていきたいと思えます。

質 県及び隣接県との関係機関との連携も必要と思うが。

答 中津川市との県際会議の場でも協議します。

質 県管理の河川や国道256号の工事に合わせた改良や土砂運搬先の確保の責任を県や市町村に押し付けられる危惧があるが。

答 具体的な提示はありませんが、事後も善処します。

3月定例会
26年度当初予算審議（抜粋）

Q 北原議員
第3次自立推進委員の内容について。

A 総務課長
第2次を参考に、各団体の推薦と公募で行いたいと思えます。

Q 北原議員
観光の広告宣伝費が少ない。町のPRが必要でないか。

A 産業観光課長
一般会計からの支出は少ないですが、観光協会名での宣伝を重点に行っています。

Q 山崎議員
リンニア新幹線作業口とバイオマス発電建設箇所が近接している。大きな問題であるが26年度に予算化されていないが。

A 副町長
当面町が予算化する事業はないと考えています。

Q 山崎議員
消費税の影響額は。

A 総務課長
一般会計で2264万円、特別会計（7会計）390万円です。

Q 早川議員
中学校の美術、家庭科等は必要な授業であり県費での職員配置を要望すべきである。

A 教育長
常に要望していますが配置してもらえない状況です。今後も引き続き要望していきます。

質 6次産業化を行政がどう誘導していくか。コンビニと提携して野菜を生産・加工・通年販売している例がある。

答 「岩倉味噌」、「あかたつ」、「いたどり」等の販売を検討します。

質 有害鳥獣被害は拡大しているが、新規狩猟者に対する具体的な支援とは。

答 猟銃の取得補助ほか、新規免許取得に10万円

Q 早川議員

駅前の街路灯整備と防犯カメラ設置は評価する。南木曾駅に外国人対応も含め、案内が必要である。

A 産業観光課長

駅舎の中に、小規模な案内所を設置することができているか検討中です。



LED化された街路灯

Q 松原議員

子どもへのインフルエンザ予防接種助成はしないか。

A 住民課長

県内で実施しているところも少なく、今後の研究課題です。

Q 坂本議員

右岸道路の地域要望を木曾

建設事務所へあげたいが。

A 建設環境課長

今後5年間で大桑から十二兼間を着工する計画です。地域の要望を取りまとめ、県へ要望していきます。

Q 坂本議員

リニア対策で、水資源条例を制定することや、水資源のデータを取る必要はないか。

A 建設環境課長

地方事務所環境課と協議していきたいと思います。

Q 伊藤議員

施政方針の中でアベノミクスにも触れているが、町民の暮らしにもっと触れたものであるべきでないか。

A 町長

施政方針では、町の財政が厳しいこと、消費税アップは住民の暮らしが大変ということに触れています。

Q 伊藤議員

滞在型観光の26年度具体策

は。

A 商工観光係長

滞在が延びれば消費も伸びるという考えで、1町村でなく広域連携でエリアを広める取組みです。

Q 勝野議員

渡島蛇抜け沢堰堤工事における作業道路の対策は。

A 建設環境課長

直轄砂防事業として行うものですが、狭い箇所は仮設工事に対応し、和合妻籠線は町で改良を計画しています。中山道も、一部開削します。

Q 矢澤議員

除雪対策として塩カルを散布車で撒けないか。

A 建設環境課長

散布車は考えていません。塩カルを地域に配布して、地域で対応をお願いします。

意見 矢澤議員

今の塩カルは重いので、小袋にして配布して欲しい。

3月定例会

補正予算審議
(抜粋)

Q 山崎議員

新交通システム利用料は増額、委託料が減額となっている理由は。

A 総務課長

当初の見込みより利用人数が増加しています。工事等による路線変更の委託料を多く見積もったため、

減額となりました。

Q 北原議員

住宅リフォーム補助金の申請件数と総額の工事費は。

A 建設環境課長

申請件数は13件です。補助対象事業の工事費は約3210万円、補助金は約233万円です。

Q 伊藤議員

町道町中線の路面修繕を17年度から要望しているが。

一般会計補正予算 **5284万8千円を追加**
総額 **36億8117万円に**

●会計別補正予算

(単位：千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計(第6号)	52,848	3,681,170
国民健康保険特別会計(第5号)	6,247	514,735
町営妻籠宿有料駐車場特別会計(第3号)	△700	42,691
農業集落排水事業特別会計(第5号)	△100	68,610
浄化槽市町村整備推進事業特別会計(第4号)	△201	97,889
後期高齢者医療特別会計(第3号)	△97	73,398

●一般会計補正の主なもの

(単位：千円)

事 業 名	金 額
子育て基金積立金	38,200
与川大橋耐震設計委託料	12,000
ユーアイ住宅基金積立金	25,000

A 建設環境課長

ポットホルルの修繕で対応しています。全面舗装の場合、側溝との兼ね合いや中山道であるため、教育委員会との協議も必要となります。

Q 矢澤議員

忠犬事業費が減額している。現在追い払い犬は何頭か。

A 産業観光課長

40頭の登録があります。

意見 矢澤議員

忠犬事業を強化し、サル対策等地域安全をお願いする。

Q 坂本議員

外来種のアレチウリが見つかったと聞くが対応は。

A 産業観光課長

妻籠男埴川周辺での情報があります。拡がると大変なので、見つけたら根気に抜き取ることが肝心です。

3月25日
全員協議会

(抜粋)

地域防災計画の改定

概要 26年3月13日に南木曾町防災会議が開催され、「南木曾町地域防災計画」の改定が決定されました。今回の改定では、災害対策基本法の改正に伴い、災害時の避難に関する取り扱いがより細かく規定されました。自力で避難することが困難な「避難行動要支援者」の具体的な対応や、気象に関する「特別警報」の発表などについて追加改訂をしました。

伊藤議員

Q 緊急時の避難行動要支援者の名簿作成はするのか。

A 現在、避難支援の対象となる方の名簿を作っています。その中から「避難行動要支援者」を抽出する予定です。

山崎議員

Q 避難困難者も含め、携帯端末の活用計画を検討すべきだ。

A 町でも防災メールを検討したことがありますが、引き続き検討していきます。

勝野議員

Q 今度の改正を住民に知らせる他の方法は。

A 「広報なぎそ」のほか、要援護者や避難場所など、地域に関係することなので、区長会でも知らせていきます。

田立保育園耐震改修

概要 田立保育園耐震改修は、25年度内に設計を行い、3月17日の田立保育園保護者総会で概略をお知らせし、要望を聞きました。

工事内容は、基礎コンクリートの補強、構造結合部の金物補強、耐力壁の増設、水平ブレースなどの増設、改修工事は、補強に伴う床・壁・天井などの復旧、照明のLED化や防犯カメラ設置などです。

山崎議員

Q 防犯カメラは北東側、南西側からの2箇所くらいが必要でないか。

A 現在の計画では、1台なので検討します。

坂本議員

Q 保護者からの要望内容は、また、仮園舎(旧田立小学校)の不具合や見直しはあったか。

A 運動会、プール使用など工事の時期への要望があります。工事は早い時期から開始し、余裕を持って卒園式を迎えたいと思います。

「日本で最も美しい村連合」の再審査結果

読書保育園の仮園舎としては、大きな不具合はありませんでした。人数の割に建物が大きく、冬寒いのではという心配はありません。

概要 「日本で最も美しい村連合」の再審査は、昨年11月の現地視察と資格委員会での議論を経て「合格」が承認されました。地域資源のひとつ「桃介橋」については、人の営み

が作り出した景観的な側面や、地域住民が関わるといふ美しい村の地域資源としてのあり方としてはインパクトが弱いとして、「田立の花馬祭り」と「里山風景」への変更提言がありました。

今後の課題として、町全体のツーリズム展開、食の選択肢の拡大、着地型観光への取り組みなどの指摘がありました。

勝野議員

Q 「桃介橋」から「田立の花馬祭り」への変更についての説明は。

A 人の営みが欲しいのとこととでした。地域資源の代表は2つ以上3つ以内なので増やせません。

伊藤議員

Q 「桃介橋」は住民の力で復元した橋で、いろんな利用がされてきた。対象から外すのはどうか。

A 審査員と一緒に桃介橋も見ましたが、一つの観光スポットであるとの判断です。美しい村連合の審査基準から、今回の提案を頂きました。

山崎議員

意見 田立の花馬は年に1回だけだ。桃介橋は恒常的にある。地域資源というのはいつでもそこにあるというのがまず基本的な前提だから、桃介橋は地域資源代表に残すべきだ。

松原議員

意見 花馬祭りとお茶畑を兼ねてのことだからいいと思う。

「第2期特定健診・特定保健指導実施計画」の説明がありました。

概要 27年度までに糖尿病等の有病者・予備群を25%減らすため、国は、29年度までに健診実施率60%、保健指導実施率60%、34年度までに脳血管疾患・虚血性心疾患の死亡率と糖尿病腎症による新規透析導入患者の減少を目標に掲げました。

これらを実現するための2期目（25年度から29年度）における計画で、1期の活動評価と2期に向けての現状と課題などが示されています。

※詳しくは町のホームページにも掲載されています。

国有林対策特別委員会報告

2月26日、木曽森林管理署南木曽支署が開設中の、清内路峠近傍の鍋割沢林道の支線、鍋割沢林業専用道路の工事現場を視察しました。

その後、南木曽支署において、管内の25年度事業実施概要及び来年度の事業計画説明を受け、質疑応答、意見交換を行いました。



リニア新幹線対策特別委員会報告

1月31日：県の第6回環境影響評価技術委員会を傍聴しました。

3月 7日：委員会を開催し、JR東海、県知事、県関係機関などへの要望書内容を検討、作成しました。

3月10日：JR 東海飯田環境保全事務所を通じ、JR東海に要望書を提出しました（右記資料参照）。

3月11日：県庁において、県議会へ協力支援の要請を行い、県知事と環境影響評価技術委員長に要望書を提出しました。

3月12日：県の第7回環境影響評価技術委員会を傍聴しました。

※3月20日に、県知事からJR東海に、各地の要望を踏まえた知事意見書が手渡されました。

資料：「要望事項」

1. 近接する作業坑を1箇所にする多面的な工法を検討されたいこと
2. 作業坑から国道256号に至る作業用道路について早期に明確にされたいこと
3. 工事及び土砂運搬路における住民生活及び地域産業並びに観光産業への影響が最小限となる措置を計画されたいこと
4. 住民との協定を締結するなどにより、水源及び水質について長期間保障すること
5. 上記のほか工事全体について地元住民に説明する機会を早期に設けること

以上

木曽広域連合議会

●木曽広域連合2月定例会が2月28日に開催され、提出議案すべてが原案どおり可決・決定されました。

●木曽広域消防本部消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定

消防署長の資格要件を条例で定めることにしたものです。

●木曽広域連合障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例等の改正

「障害程度区分」という用語を「障害支援区分」に変更するものです。

●木曽地域高度情報化施設の設置及び管理運営に関する条例の改正

事業所向けのインターネット契約の加入料金を引き下げるものです。

●平成25年度一般会計補正予算(第4号)

2351万1千円を減額し総額30億381万8千円となりました。

●平成25年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

49万8千円を追加し総額39億8227万1千円となりました。

平成26年度 木曽広域連合当初予算

会計区分	本年度	前年度
一般会計	2,876,655	3,038,009
介護保険特別会計	4,040,564	3,896,813
総計	6,917,219	6,934,822

※高機能消防指令台の設置が完了したことにより一般会計では約2億円減少しています。介護保険特別会計は、介護給付の増加に伴い約1億円増加となります。

松塩筑木曽老人福祉施設組合議会

●松塩筑木曽老人福祉施設組合議会2月定例会が、2月19日に開催され、提出議案すべてが原案どおり可決・決定されました。

●平成25年度一般会計補正予算(第3号)

400万円を減額し総額47億7300万円となりました。サービス収入の減を補うため、財政調整基金4900万円を繰り入れました。

●平成26年度一般会計予算

予算規模は前年度比4%減の、44億6800万円です。約1億9000万円の減額は、主に「ピアやまがた」の大規模改修事業が終了したことによります。サービス収入減や消費税の影響もあり、利用者に影響のない範囲で経常経費の縮減などの取り組みも実施しています。

議会の傍聴にお越しく下さい

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開催されます。

※3月の議会は、3日間で12人の傍聴がありました。



議会傍聴の様子



議会報編集委員会の様子

編集後記

今月の議会だよりは、26年度の予算や実施事業の審議、町民アンケート結果などを掲載しました。

毎回議会終了後3回ほど委員会を開催し、記載内容、割り振り、校正を行っています。すべての内容を、掲載することはできませんが、読みやすく、わかりやすい議会だよりと心がけています。ご感想、ご意見など議会事務局までお寄せください。

編集委員長 山崎 隆一
編集委員 坂本 満

早川 親利(記)

町民アンケート結果報告

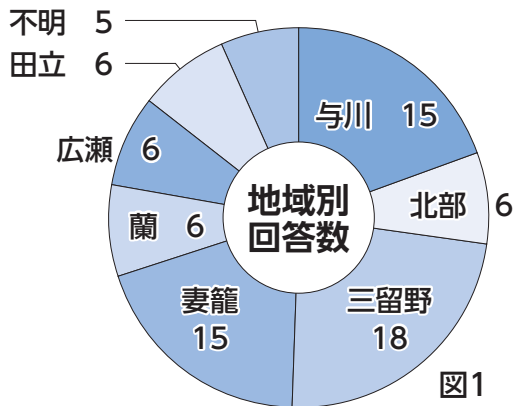


図1

2月締め切りで実施した町民アンケートには、77件の回答をいただきました。(回収率5%弱) その結果を報告します。

図1～3は回答数の内訳、図4・5は議会のテレビ放映の要否、図6・7は議会による住民懇談会の開催の要否を尋ねた結果です。

次ページ以下には、寄せられた要望等を一覧にしました。

結果の取扱いは、議会「あり方検討特別委員会」で検討しています。

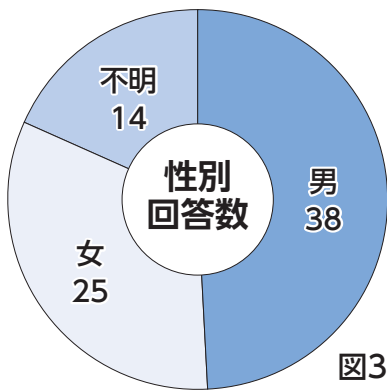


図3

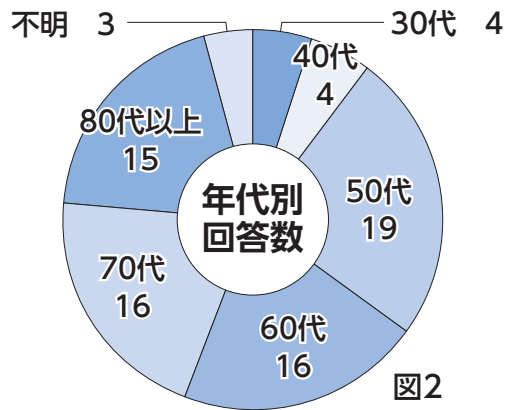


図2

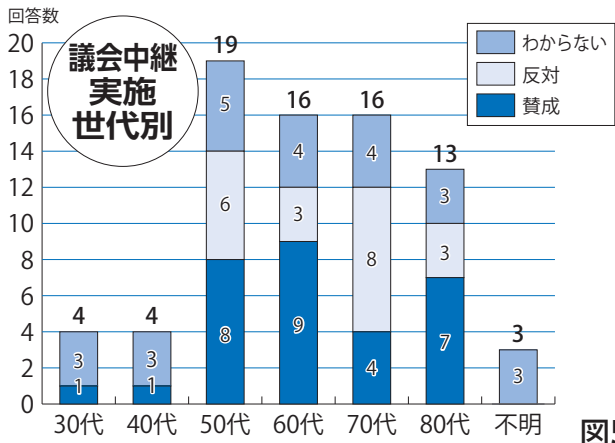


図5

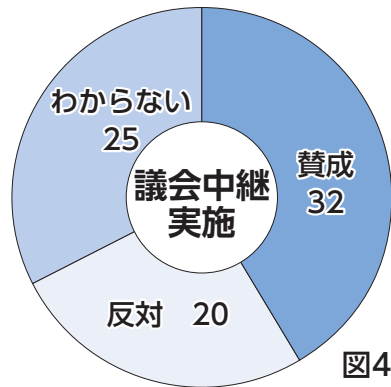


図4

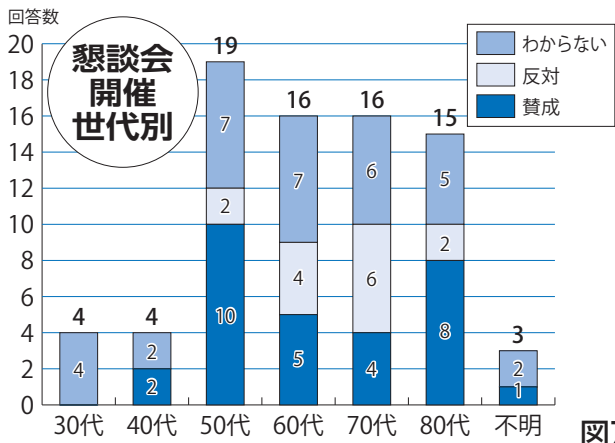


図7

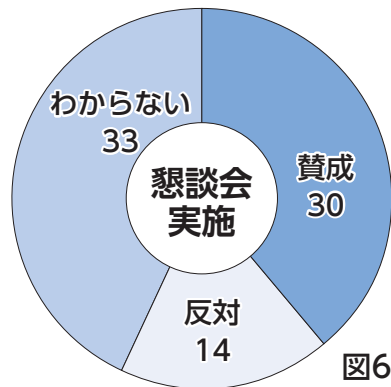


図6

議会アンケートにお寄せいただいた意見

意見の分類	意見の内容
<p>議会での一般質問の テレビ放映の要否</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ中継にかかる経費の負担と効果への懸念あり。 ・議会中継以外の放送を要望。 ・出来るならば放送もよい。 ・多額、余分な費用をかける価値へ疑問。 ・「広報なぎそ」で十分。もっと充実を。 ・議員が困るのではないか。 ・議会、行政が積極的になるか不明。 ・全町民が見るわけではない。 ・議会を見る機会がなく、町民と議会が身近になり、関心が高まる。 ・文書報告では情報が遅くなるからよい。 ・議員が緊張感を持ってやるからよい。 ・他町村ですでにやっている。率先してやるべき。 ・重要な問題は一般質問以外も放映するべき。 ・議場は階段があり行きにくい。また、雰囲気が悪く行きにくい。 ・町の活性化になる。大いにやって欲しい。 ・町政の勉強をするのに、録画して都合の良いときに見られる。
<p>議会主催の 住民懇談会の要否</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回懇談会の出席率ではどうなのか。参加者が少ないことへ危惧。 ・懇談会の役割が疑問。 ・興味ある議題なら参加する。 ・議員個人が集会などをすればよい。 ・地区単位で多くの意見を聞ければいい。地区の常会などの利用も。 ・基本条例で実施すると明言している。 ・町民一人ひとり、末端まで浸透するような懇談を望む。 ・若い人たちが町の情勢を知る機会になる。 ・若い人が参加し易い懇談会にして欲しい。 ・定期的に開催して欲しい。 ・歳(高齢)だから参加しません。
<p>議会や議員へ 望むこと、感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情しても成果効果が望めない。 ・国政に対する意見を上げ、広めて欲しい。 ・提案できる機会があることは大事。 ・要望が実現しない一方で知らないうちに事業が始まっていることがある。 ・地域を見て回り、自分の目で問題点を確認して欲しい。 ・町民の声を議会に。その情報を住民に。 ・どんな要求、提案なども、聞く耳を持って欲しい。 ・議会は行政のチェック機関である。なれ合いはやめて欲しい。 ・行政とは距離感を持ち、議論を闘わせること。 ・町職員との意見交流などの場はあるか。 ・議会基本条例のアンケート結果の公表をすべき。 ・議会を年1回(1日のみ)土曜日から日曜日に開会してはどうか。 ・議員のなり手がなくないことの対策を。(議員に魅力がない。給料が安い等) ・議員の待遇改善と議会活動費用の確保について見直す必要あり。 ・定数は減らしてはいけない。 ・日々研鑽、議員同士の切磋琢磨で町の発展の力に、フルに活動を。 ・私たちの意見を伝える場だ。 ・町行政は町長の考えだけでない。議員の方々はがんばること。 ・町長のこれまでの評価をしたらどうか。 ・会議や行事の予定表、出席者などを現在の文字テレビで流して欲しい。 ・議会基本条例の規定事項等の再認識、遵守を。 ・財政が悪いので議員報酬は日当制にし町民へのサービスを増やす。 ・議会活動(本会議・委員会等)に欠席する議員がいると聞く。 ・議会はどんな事をやっているのかわかりません。 ・将来の課題を積極的に目に見える具体論として議論して欲しい。 ・地域をよく見回り、区の常会などで要望・意見を聞き、議会へ反映を。 ・年1、2回は地元の議員は顔を出し、町政懇を開いてはどうか。 ・自分の区内だけでなく全町を見て欲しい。 ・行政に対する批判でなく、行政のけん引役となって欲しい。

お寄せいただいた意見

意見の分類	意見の内容
<p>議会や議員へ 望むこと、感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数が削減され、議員は全町民の代表の性格を持っている。 ・町内全体を良く見て、平等に小さなことでも確実に実行して欲しい。 ・全員の議員の氏名さえ知らない。サークル等への溶け込みを望む。 ・何の為に議員をしているか、自覚して活動すべき。 ・期待に値する議員がいない。手当目的の様な議員で全く信頼が出来ない。 ・町議会以外での日常活動が全く見えてこない。 ・町民の代表として責任のある活動・発言を望む。 ・地元の議員すら細かな事を知らないことがあるのではないか。 ・今一度議員本人の選挙公約を見て下さい。 ・議員としての自覚が欠如している議員がいる。 ・地域を回り、自分の目と耳で町の問題点を確認して欲しい。
<p>町長・議員選挙</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町政に失望し、議会も魅力がないので1名欠員で無投票という状況である。 ・投票場までバスを出してほしい。さもなくば棄権する。
<p>住民への対応や アンケート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施するならば、(郵送とかではなく)回収まですること。 ・区長配布されるなら、区長に回収もお願いしてはどうか。 ・住民の意見を聞くのに、返信費用は各自で負担というのはおかしい。 ・費用をかけてのアンケートだから、意味のあるものに。 ・回収率、アンケート結果の公表を望む。 ・折りたたんだら封筒になり、受取人払いで直接送れるようにして欲しい。 ・アンケートに費用を示すと推進希望者が減るのはと心配。 ・アンケートのまとめ、要望に対する対応予定など、お知らせを望む。 ・財政のきびしい中、住民サービスの低下にならない様に望む。 ・役場の職員の仕事や意見など、町民と語る場を持たないか。 ・協議会要望は随時議会で執行状況等をチェックし公表する必要がある。 ・安全・安心、生命・人権、生活権・生存権の事案は、喫緊・最優先課題。
<p>木曾広域テレビや 町のホームページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CATVでは文化的な放送をするように望む。 ・町の放送にBGMを望む。動画化を望む。 ・他町村のチャンネルはうらやましい。 ・ホームページは、行政、議会ともに情報発信が少なすぎる。
<p>町の総合計画、 定住化・住宅政策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住、食、衣に関するアイデアを望む。 ・他町村は定住化、地域振興、観光客誘致、地域起し等々仕掛けている。 ・公害のないきれいな町づくりを望む。 ・少子高齢化対策と雇用対策が必要。 ・町内7地区の地域特性を生かし均衡ある施策を望む。 ・若者が働ける企業誘致を望む。 ・インパクトのある事業、アイデアはいっぱいあります。 ・定住している町民の実態を重視して町独自の将来を。 ・都会からの交流者→定住、生活可能な事業を望む。 ・妻籠下町では子どもは幼児、小学生、中学生各1名しかいない。 ・まずは現に生活している人の不安・不満足の解消を望む。 ・子育て世代が住みやすい町を望む。 ・若者が定住し町の人口が増える町政を望む。 ・少しでも若い活気が欲しい。 ・若者が地元に残り、もどりたい町、住みたい町を望む。 ・若い方から「住宅がない」という声を聞く。 ・与川は高齢化、戸数も激減、お先真っ暗。何とかして。 ・定住するには働く場所が必要。 ・老人の生活できる集落でなくなる。福祉にも限度がある。 ・一昔前の地域コミュニティの復活を望む。 ・田立地区に多くの町営住宅を望む。 ・町営住宅を安くするとか、家を建て易くして欲しい。 ・近現代文化に対する町の視野が狭い。 ・治安の管理。 ・獣におそわれ、雑草に荒され高齢化で暮らしにくい! ・一級河川の景観を保つ手入れが必要。

意見の分類	意見の内容
保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・読書保育園の耐震工事ができて、伸び伸びと保育園で生活できるようになった。 ・次は園舎に相応しい駐車場を整備すべき。 ・各園の交流で小学校に行ってから生活がなじみ易くなっていると思う。 ・保育園の建て直し、議会でどんな話が出たのか。 ・保育園が良いから引っ越してきたいと思われるような町。
教育・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全も願う。 ・町が貯めているお金で子育て支援を望む。 ・子供の安全と可能性を伸ばせるようにして欲しい。 ・放課後教室は、スタッフの増員とスタッフがみやすい施設が必要。 ・子育ては親、家庭でのしつけが先。学校へは良い先生の派遣を。 ・補助教員の増員、実験や調理器具などは数をそろえて欲しい。 ・保・小・中・高一環教育を考えるべき。施設の効率化で経費節減できる。 ・根本的な母親の子育てのあり方を学び直す必要がある。 ・昔に比べると家族旅行などチョットやり過ぎだ。
福祉・介護・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・車の運転ができなくなった時など、高齢者の生活の手段を望む。 ・ハイヤーなどの割引券があれば良い。 ・吾妻地区より直接坂下病院へ行く直行バスを望む。 ・町に行くのに低価格のバスが欲しい。 ・老人介護に力を借して欲しい。 ・大病になれば医療会計は大変。社会福祉の値上げは最小限に。 ・医療費が上るのは困る。 ・予防、健康のための行政努力には感謝。 ・福祉灯油は毎年続けて欲しい。 ・見回りや、車のない方への通院の援助など、運賃の安いバスを望む。 ・老人世帯への支援活動を望む。高齢者福祉介護への目線を鮮明に。 ・若い人達が安心できる年金制度の確立を。 ・認知症を予防するための運動教室が必要。 ・あすなる荘の調理場も含めた施設の見直しを。(衛生面で心配)
男女共同参画計画	<ul style="list-style-type: none"> ・若者や女性の意見、希望などを重視すべし。 ・役場で男性職員の育児休暇などは取っているのか。
リニア問題	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア問題の地域の為になる解決。 ・リニアの非常口は1つでも暮らし・観光に大変。反対してもらいたい。
公共施設など	<ul style="list-style-type: none"> ・南木曾会館ホールの音響、空調設備更新、図書室の拡大・蔵書の充実を。 ・駅前トイレで、身障者用のボタン操作位置が使用しにくい。 ・困ったときに買いに行けるコンビニ店があるのはありがたい。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾路館より下のカーブ、凍結、雪で、道路が滑り怖い。 ・妻籠区内の道路が所々で穴があり歩きづらい。 ・与川の町道の拡張と支障木の伐採を。
上下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・町の投資額と地元負担に大きな格差が生じている。 ・上水道施設が整備されている地区と小規模水道地区の格差がある。 ・下水道が整備されている地区と未整備地区の格差がある。 ・「ルール」と称し、一般会計からの繰り入れ額は莫大だ。 ・小規模水道は、地元管理で高齢化が進み限界になっている。 ・小規模水道を一律に見直したいとする行政の姿勢は的外れだ。
妻籠宿	<ul style="list-style-type: none"> ・町並み交流センターは分館新設のみでよいのではないか。 ・外部から移り住んでももらいたい。特に若い人。町事業として投資が必要。 ・「妻籠地区の再調査(1989)」の学習をするべき。 ・他地域からの人にも住んでももらい、地域の力になる方策を臨む。 ・妻籠の空家対策を望む。

南木曾町議会アンケートに貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。議会ではこれを真摯に受け止め、町政と議会の発展のために活かすよう努めます。